

議会だより かどがわ

NO.125

門川町議会広報

February.2011



五十鈴川流域の森と水再発見
フォトコンテスト入選作品

もくじ

補正予算	2P
一般質問	4P
人事案件・条例改正	8P
臨時議会	9P



■発行者／門川町議会議長 安田茂明
■編集／議会広報編集特別委員会
〒889-0696宮崎県門川町本町1丁目1番地
TEL(0982)63-1140
<http://www.town.kadogawa.lg.jp>
■印刷／ヤマシタ印刷

私立保育園運営費などの児童措置事業 3,348万円

例年より入園児童が増加したため、私立保育園の運営費などの児童措置が増加したためです。

子ども手当給付事業 409万円

新型インフルエンザワクチン接種費用補助金 232万円

国の補助事業が期間延長されたことに伴い、13歳未満で1回目のみ1,000円補助、低所得者に全額補助をします。

し尿処理維持管理事業 255万円

県営広域農道整備事業負担金 1,670万円

竹名地区の県営広域農道の整備のため2億880万円に対する8%の負担金です。



県が実施する国道388号拡幅工事に伴う用水路買収事業 32万円

松瀬～川水流線等の道路新設改良事業 260万円

中山川等の河川改良事業費 200万円

本町都市下水路4号雨水幹線設計委託費 620万円

広域消防業務負担金 1,306万円

日向市と広域消防事務委託に伴う負担金の決定を受けて補正するもので、前年度負担額より1,306万円増の総額1億9,408万円の負担金となりました。

平城多目的ふれあい広場整備事業 472万円

松寿園跡地を多目的ふれあい広場として活用するための整備事業です。

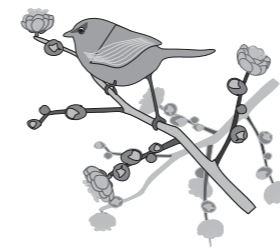
予備費 2,016万円



特別会計補正予算

介護保険事業 15億1,128万円 (215万円増額)

一般会計補正予算 3億3,627万円を追加し 総額70億2,405万円で可決



平成22年第4回定例会は12月8日から12月15日まで8日間開かれました。今議会においては、諸報告4件、同意2件、条例制定1件、補正2件、発議2件が審議され、原案通り可決されました。一般質問では、12月9日、10日に7名の議員が登壇し、町政について論戦を行いました。

一般会計補正予算

歳入

Table with 2 columns: Item and Amount. Items include 地方交付税 (1億9,653万円), 国庫支出金 (4,379万円), 県支出金 (2,661万円), 町債 (6,731万円).



議員勉強会のようす

歳出 (主な内容)

Table with 2 columns: Item and Amount. Items include 心の杜の源泉スベアポンプ購入事業 (110万円), 県議会議員選挙費 (248万円), 財政調整基金への積立金 (1億5,000万円).

当初予算・6月補正予算で財政調整基金(家計の定期預金のようなもの)を1億8,600万円取り崩しているため、今回の補正と合わせて、総額1億6,250万円を積み立てるものです。

Table with 2 columns: Item and Amount. Items include 介護保険事業特別会計への繰出金 (215万円), 障がい者福祉サービス給付費などの障がい者福祉費 (6,135万円).

ヘルパー利用や施設入所・通所の利用者が増えたことと、障がい者自立支援法の一部改正により、低所得者の利用料が全額町負担となったことによる補正です。

※予算額はすべて千円以下を省略

一般質問

7名の議員が登壇!

町政の喫緊の課題 対策について



安藤 福松

町長・関係機関等と協議し、積極的に事業化に取り組み

問 厳しい状況にある国民健康保険事業の安定化対策・丸バエ川の災害対策と深迫地区の整備・加草中村線街路整備について、町長の考えを伺いたい。

取り組んでいく。また、財源確保のため、国保税の収納率アップに努めるとともに、基金積立や必要に応じ、一般会計からの一時借入も考えていく。

町長

国保財政の安定化対策について、ここ数年その運営に苦慮している。まず医療費の適正化と健康保険税や国庫負担金等、財源の確保に努める。特に医療費の適正化については、重複受診の防止啓発と健康づくり事業の一層の活動と、特に早期治療のため、特定検診の受診率向上に引き続き

次に丸バエ川災害対策と深迫地区の整備については、浸水被害対策が必要で、須賀崎地区の一部に簡易排水ポンプを設置し、被害軽減を図るため試験を行っている。効果を見ながら検討していきたい。加草中村線は、高速度へのアクセス道路として整備効果も期待できることから、整備すべき路線と認識しており、事業化を進めたい。

国定公園内の観光資源活用について

黒木 義秋

町長：重要な観光地と認識している



問 かどがわ温泉心の杜から亀の首、そして亀の首から乙島まで、吊橋を設置してはどうか。また、遠見山県道は幅が狭く、整備が不可欠であるが、どう考えているか。

町長

重要な観光地と認識している。しかし、吊橋建設は、費用を考えると町独自の対応では無理がある。費用対効果や維持管理安全上の観点からしても設置は困難だ。

また、遠見山県道の整備は不可欠と認識している。母子里から遠見山中継塔入口までの区間は、車の離合が困難である。引き続き、県に要望していく。路線全体の本格拡幅改良は、県や延岡市の見通しを含めて検討していく。

高速度道路門川上下入口料金所設置について



乙島まで吊橋をかけられないか

問

東九州自動車道は待望の開通式を迎えたが、門川町は素通りになる現状である。門川町の振興を考えると、スマートインターは必要ではないか。

町長

県高速度対策局や日向土木事務所による現地調査検討会を進めている。交通量予測や費用対効果の調査など行い設置に向けた取組を進めていきたい。

スマートICの早期設置を



黒木 裕

町長：設置に向け取り組む

問 「所在不明高齢者」について

町内の高齢者の所在確認、安否確認また、不適切な年金受給の事実はなかったか。

町長

地区区長を中心に民生児童委員、福祉推進員及び包括支援センターにより高齢者の所在確認の把握ができています。一人暮らし高齢者438人の安否確認も同様である。年金受給の対象者については、戸籍ではなく住民基本台帳との連動により受給及び停止等が確認される。それに地区単位で高齢者の所在確認ができていますので、年金の不正受給はない。

教育長

学校における「いじめ」問題について

全国的な報道によると、最近またいじめによる自殺事件が起きた。門川町の「いじめ」の実態はどうなのか。

西門川地区少子化対策は

森 誠一

町長：慎重に対処したい



問

西門川小中学校PTAが、長年の地域ぐるみの活動を認められ、文部科学大臣表彰を受けた。そんなすばらしい西門川も、少子高齢化が進み、児童・生徒の数は、年々減少している。19年から特認児童生徒を受け入れることで存続している状況である。このまま見過ごしていいものか。

西門川地区には、2つの住宅が存在している。しかしながら、平成10年に実施した西門川地区を対象にした町営住宅に関するアンケート調査では需要がほとんどなく、結果として、用途廃止により処分したところである。本町は、過疎または辺地として指定されていないので、山村定住宅整備事業等の制度が活用できない。

町長

また、市街化区域外の公営住宅の建設は制度上困難な点が多く難しい。少子化対策については、単に住宅施策にとどまらず産業や経済の面から、あるいは教育の観点からも非常に重要な課題と認識している。

今後の社会情勢、定住及び流動人口の動態、交通網の体系などを踏まえながら、慎重に対処したいと考える。

町長

このことは、町民の利便性を欠くし、町内経済産業の活性化策にも少なからず影響がある。今後の見直しは難しい面もあるが、関係機関と引き続き相談し、設置に向けた取り組みを進めたい。



五十鈴川右岸高台の有効活用は



米良 昭平

町長…広域的事業候補地で提言

問 東九州自動車道の完全開通に対応して、日向市と連携して日向市と門川町の中間にある五十鈴川右岸の高台への観光施設・研究施設等の誘致に取り組んでどうか。

町長 東九州自動車道の完全開通に対応して、日向市と連携して日向市と門川町の中間にある五十鈴川右岸の高台への観光施設・研究施設等の誘致に取り組んでどうか。

町長

五十鈴川右岸の高台は、セメント用粘土原料として企業が採掘を行っていたが、現在は緑地帯となっている。日向市を核とした定住自立圏などで広域的な事業に取り組む際、有効な候補地として提言したい。

音と臭いの問題について

問 苦情が出ている音と臭いについてのマップを作成し、対応を考えるとどうか。

町長

快適な環境を保全する施策として一つの手段と思うが、自然条件の下での区域設定など困難な問題もある。

道・川の整備について

問 門川町が目指す「誇れるふるさとづくり」の中でも、道・川の整備は特に必要であると考えられる。整備推進を図ってはどうか。

町長

また、町道・農道・林道に含まれないが、実際に町民が利用しているという道路については、整備をどう進めるか。

町長

安全対策上必要な措置は地区の要望などに基つき対応している。生産活動上必要な場所も補助などによる地元施工で対応している。



求められる道・川の整備

海浜公園へのバスケットコートについて

千草 力生

町長：関係機関団体と協議研究する



問

バスケットボール競技については、現在は、練習場所がなく、日向市まで行って練習をさせている状況である。バスケット競技をする子ども達も増えて、近くで練習できる場所を望む声が高まっている。青少年の健全な育成の一環として、地域の施設として取り組みはないか。

町長

バスケットコートについては、小・中学校6校すべての体育館内と、勤労者体育センターに設置している。体育の授業をはじめ、スポーツ少年団や部活動及び一般競技団体が使用許可を取り、活用している。今後、練習用バスケットコートの設置については、体育協会等、関係機関団体と競技をしながら研究していきたいと考えている。

問

役場南側の道路の西方向のつきあたりにある元篠原医院の前にカーブミラーを設置できないか。

町長

カーブミラーは、地区の要望により、毎年3箇所程度設置しているが、カーブミラー設置には土地所有者の承諾は必須となっている。今後とも地元区長を通じ、関係者との協議を重ねていきたい。

上町地区へのカーブミラー設置について

鳴子橋に歩道の設置を



水永 正継

町長…橋梁点検の計画にあわせて、検討する

問 鳴子橋は道幅が狭く、歩行者・自転車等の通行の安全確保が難しい。歩道の設置はできないか。

町長

地区のことは、区民が一番くわしいので地区と連携を図りながら整備を進めていくのが基本と考える。

五十鈴川に遊泳場を

問 五十鈴川に遊泳場の設置はできないか。

町長

安全上等の観点から見合わせたい。

道路の整備

問 見通しについて
平城西のイチマル産業前の道路（門川高校通り線）は、西方向が行き止まりになっていく。

町長

門川高校通り線の完成後に交通状況を見ながら、必要性について検討していく。

傍聴人の声より

今回は、一般質問を傍聴した町民の方2人から感想が寄せられました。高齢者関連の質問の中で、子ども見守りネットワークの話題が出てきたため、関連の意見が含まれています。（文章は原文のまま掲載）

「議員さんの意見もいろいろいいことばかり町に対して質問されていたようです。町長さんでもできることはできる。できないことはできないとはつきりおっしゃっておられました。」

「現在、子ども見守りは定着致しておりますが、高齢者の実態について、地区での取り組みはもちろん、苦惱、独立化が進んできております。町においても高齢者が安心して生活できるよう、町においても前向きに考慮してほしい」と町民の一人として願っているところだ。



人事案件

任命同意

教育委員会委員

新原とも子氏(新任)



町教育委員会委員で教育長を務めていた齊藤義輝氏の任期満了に伴い、後任の委員として児湯教育事務所所長などを務めていた新原とも子氏を任命同意しました。

選任同意

固定資産評価審査委員会委員

本田和己氏(再任)



条例制定

○門川町ひとり親家庭医療費助成に関する条例(全員賛成原案可決)

平成22年8月1日から施行された「改正児童福祉法」により、母子、父子家庭の制度上の格差是正等もあり、名称も国や県の制度上において、母子世帯、父子世帯を総称して、「ひとり親」と呼称するものです。

○門川町議会委員会条例の一部を改正する条例(全員賛成原案可決)

今回の改正は、これまで環境建設課の事務事業については、環境係を文教厚生常任委員会、他の三つの係を産業建設常任委員会それぞれ所管していましたが、文教厚生常任委員会所管分を産業建設常任委員会に移管することによって、委員会審査の効率向上が図られるため、所要の改正を行うものであります。

意見書

○子ども手当財源の地方負担に反対する意見書(全員賛成原案可決)

意見書の要旨
政府は政権発足以来、子ども手当は全額国庫負担で実施するという方針を繰り返し表明してきた。原口一博前総務大臣も国会答弁等において、地方負担を平成23年度以降は継続しないことを明確にしていた。

子育て支援は、地域の実情に応じて、地方自治体が創意工夫を発揮することができ分野を地方が担い、子ども手当のような全国一律の現金給付については国が担当し、全額を負担すべきである。よって、子育て支援の国と地方の役割を早急に明確化し、平成23年度以降の子ども手当については、現行の地方負担を廃止し、全額国庫負担で行うよう強く求める。

かがわ

臨時議会

第6回臨時議会(11月29日)

臨時議会を開き、次の5議案を審議しました。

○門川町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について

(賛成多数原案可決)
議員の冬のボーナスが1人あたり3万5,880円減額されました。

○町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について

(賛成多数原案可決)
○教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について
(賛成多数原案可決)

○門川町の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

(賛成少数原案否決)

意見書

○環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉への参加に反対する意見書

(全員賛成原案可決)

意見書の要旨

TPPは、例外なき関税撤廃を原則とするため、将来本格的交渉に参加し、関税などの国境措置が撤廃された場合、海外から安い農林水産物が国内に大量に流入し、我が国の農林水産業が壊滅的な影響を受けることは明らかである。よって、国においては、食の安全・安定供給・食料自給率の向上・我が国の農林水産業・農山漁村を守るため、TPP交渉に参加することがないよう強く要望する。



閉会中の調査の報告

産業建設常任委員会

10月22日に町内の国道・県道・町道整備の進捗状況、河川土砂の掘削、急傾斜地の状況について現地調査を行いました。

その結果、委員会の意見及び執行への要望としては左記のとおり意見の一致をみました。

- ・大原仁久志線は、年次的な路面補修を行い、可能な限り拡幅に努めること。
- ・県道八重原延岡線は、局部的な拡幅改良も含め、県に事業着手を継続して要望していくこと。
- ・五十鈴川は、集落浸水箇所土砂掘削等の整備を継続し、小園下流を含む抜本的な河川改修を継続要望すること。
- ・国道388号線上町交差点改良は、順調な進捗状況を確認できたこと。
- ・門川高校通線は、整備効果を期待し、早期の整備を実施すること。
- ・牧山(曾根米の山線)は、地域の交通はもとより、観光ルートとしても重要であることから、継続して整備すること。

まちかどフラッシュ



実行委員あいさつ



新成人誓いの言葉(総合文化会館)



消防出初式(海浜総合公園)



中山神社裸参り

編集後記

早いもので、正月から一ヶ月が過ぎ、これから一段と寒くなり、風邪をひきやすくなります。「うがい」「手洗い」が一番の予防です。

私たち広報委員会で編集する最後の議会だよりとなりました。議会だよりは、町民の皆さんと議会をつなぐ唯一の公共誌です。「分かりやすく」「読みやすい」を心がけ、取り組んできました。

たくさん温かいご指導、ごもありがとうございました。

議会広報編集特別委員会

- 委員長 小林 芳彦
- 副委員長 水永 正継
- 委員 千草 力生
- 委員 米良 昭平